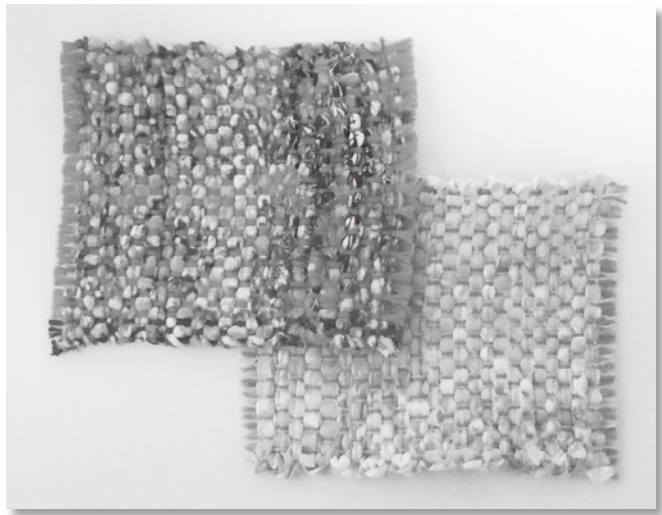


### 組合員の作品



先織りのコースター  
ひまわり支部 大植ケイ子



ちぎり絵 柿  
成田支部 森田 美智子



ちぎり絵 ひまわり  
みい西支部 山内 敏子

### 短歌

石垣を伝いて登る我が腰を押しくれし人の竹田城址

門真東支部 佐々木芳春

(前号で間違いがあったための再掲載です)

澄みわたる墓地大空映えること亡き子の友が生けし白百合

門真中央支部 兵頭 克己

大阪の夜空に光る一つ星試歩の歩みを止めしばし見上げる

あいあい支部 長野 晃

ちちははの墓処に今年も咲きしというもじずり草のくれないの花

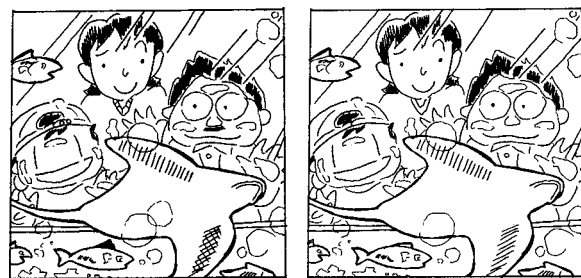
みい支部 稲原 一枝

梅雨冷えの半日をかけ煮詰めたるマーマレードの琥珀のさまよ

みい支部 團 真理子

### まちがいさがし

この絵でちがう所は  
7カ所。どこにちがう?



「答え」は今月号のどこかにあります

## あが町探訪

### 大和川の付け替え

さつき支部 酒井 則行

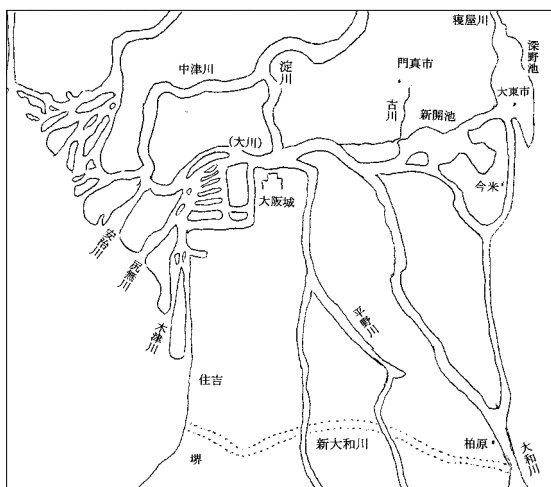
奈良を源流とする大和川は、江戸時代前半ごろまでは柏原から支流を作り、天満の辺りで淀川と合流していました。

太平の世になると木材の需要が増し山林の乱伐や開墾も盛んになりました。そのため大雨が降ると土砂が大量に流れだし洪水が起こりやすくなりました。深野池・新開池も浅くなり、寝屋川古川へ注ぐ悪水も流れにくくなっていました。

そこで万治2年(1659年)に下流の村から大和川の付け替えの願いが幕府に初めて出されました。それを受け検分が行われましたが、付け替えられる新川側の村人たちは耕地が無くなることや水害の恐れを理由に反対し中止となりました。

推進側と反対側の訴えは繰り返されました。そこで幕府は砂防のため山川掟を出しましたが延宝2年(1674年)の大雨では、35箇所の堤防が切れたため摂津国と河内国250カ村もが付け替えの願いを出しました。反対側も訴えを出し、実施は中止となりました。

幕府は淀川河口の九条島を開削し新河道を作ったりしましたが、洪水がおきました。推進側は、江戸まで訴えに行きました。さらに元禄13・14年(1700・01年)の洪水で今米村は大凶作。ついに幕府も腹をくくり元禄17年(1704年)2月より工事を開始。日に1万人が働くという大工事の末、10月に新大和川を完成させました。



300年ほど前の淀川・大和川

大和川は淀川と切り離され旧大和川筋の人たちは安堵しました。しかし、新川側で耕地をなくした人たちは旧大和川の跡地を3年間の無年貢で与えられましたが、耕地にするには大変な苦勞を強いられました。また、新川側ではこれまでなかった洪水も経験するようになりました。